

指定管理者による公の施設の管理運営状況

令和元（2019）年度

施設名	栃木県体育館
施設所管課	教育委員会事務局スポーツ振興課
指定管理者	公益財団法人栃木県体育協会（法人番号 8060005007630）
指定期間	平成 31（2019）年 4 月 1 日～令和 3（2021）年 3 月 31 日

1 施設の概要

施設所在地	宇都宮市中戸祭 1-6-3
施設の概要	①敷地面積 33,629.54 m ² ②本館 延床面積 6,069 m ² 競技場面積 1,796 m ² 観客席 1,920 席 ③別館 延床面積 1,154 m ² 競技場面積 457 m ² ④プール館 大プール（7 コース） 25m×16m 小プール 15m×10m ⑤武道場 延床面積 2,092 m ² 道場面積 829 m ² （令和元年 1 月 3 日閉鎖） ⑥弓道場 延床面積 463 m ² 近的（8 人立ち）131 m ² 遠的（6 人立ち）182 m ² ⑦その他の施設 会議室
業務内容	①栃木県体育館の施設の維持管理に関すること ②栃木県体育館の施設等の利用の許可に関すること ③栃木県体育館の施設の運営に関すること ④その他付帯すること

2 収支の状況

令和元（2019）年度

（千円）

収入			支出		
指定管理 ※2	指定管理料	112,185	指定管理 ※2	事業費	
	利用料金収入	21,568		管理運営費	82,265
	その他収入※1	2,126		人件費	40,910
				その他支出※1	5,269
	合計	135,879		合計	128,444
指定管理業務収支差額①			7,435		
自主事業			自主事業		
自主事業収支差額②					
収支差額（①+②）			7,435		
備考（※1 その他収入の主なものを記載） 自動販売機設置手数料収入 2,126 千円			備考（※1 その他支出の主なものを記載） 租税公課費 5,269 千円		

※2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

平成 30（2018）年度（前年度）

（千円）

収入			支出		
指定管理 ※2	指定管理料	112,300	指定管理 ※2	事業費	
	利用料金収入	25,243		管理運営費	83,310
	その他収入※1			人件費	40,409
				その他支出※1	5,014
	合計	137,543		合計	128,733
指定管理業務収支差額①			8,810		
自主事業			自主事業		
自主事業収支差額②			1,468		
収支差額（①+②）			10,228		
備考（※1 その他収入の主なものを記載）			備考（※1 その他支出の主なものを記載） 租税公課費 5,014 千円		

※2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

3 利用状況

施設名		平成 30 (2018) 年度 (前年度)	令和元 (2019) 年度
本館	開放日数	336日	324日
	利用者数	70,460人	57,742人
	平均利用者数	209.7人	178.2人
別館	開放日数	342日	324日
	利用者数	23,540人	20,478人
	平均利用者数	68.8人	63.2人
武道館	開放日数	342日	324日
	利用者数	48,959人	31,838人
	平均利用者数	143.2人	98.3人
弓道場	開放日数	341日	323日
	利用者数	12,630人	11,307人
	平均利用者数	37.0人	35.0人
プール館	開放日数	339日	315日
	利用者数	44,401人	37,890人
	平均利用者数	131.0人	120.3人

4 サービス向上に向けた取組

- (1) 利用者の安全を踏まえ、点検を日常的に行うほか、毎月1回「施設等点検調整日」を設け、「点検マニュアル」をもとに、各施設2名の職員が施設・設備・器具等の点検・確認を行った。
- (2) スポーツ教室の参加者増を図るため、「体育館月報（県体だより）づくり」に努めた。
- (3) 利用者からの意見や苦情に対し、安全・安心を最優先に、出来るものから速やかに対応した。
- (4) 新型コロナウイルス感染防止のため臨時休館した。

5 利用者意見への対応

利用者意見の把握方法				
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者意見箱の設置 ・利用者アンケートの結果 				
回答者数 363名 ※④のみ普通利用者 293名			単位：%	
主な項目	使いやすい (良い)	適当 (適当)	使いにくい (悪い)	その他 ・無回答
① 予約方法・受付方法	27.5	61.7	5.0	5.8
② 用具・備品	27.5	60.6	5.5	6.4
③ トイレ・更衣室等	19.6	58.9	12.1	9.4
④ 表示板・掲示板	65.9	—	16.0	18.1
⑤ 職員の対応	59.2	36.9	0.6	3.3
⑥ 施設内の清掃状況	57.0	40.2	0.6	2.2
主な利用者意見（苦情・要望）		対 応		
(1) バasketボールゴールのメンテナンス		(1) 年1回実施し、今年度から時期を早めて実施している。		
(2) 駐車場が少ない。		(2) 利用場所毎に駐車場指定して利用していただいている。		
(3) ラケット等の用具を貸し出して欲しい。		(3) 貸し出しはしていないので、利用予約時にその旨説明している。		
(4) プール館の照明が暗い。		(4) 蛍光灯等を交換し、明るくなった。		

主な利用者意見（積極的評価）
(1) 職員の対応が良い。
(2) ハード面は古いですが、清掃も行き届いて、気持ちよく利用している。

6 指定管理者による自己評価

成果のあった取組・積極的に取り組んだ事項・利用者満足度向上への取組
<p>(1) 施設設備等の補修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の安全・安心を最優先に、施設・設備等の不具合に対し、速やかに修繕を実施した。本館バレーボール支柱基礎修繕、本館ロビー照明交換、プール館入口ドア修繕、プール館ロビー照明交換、本館駐車場舗装修繕、プール館ボイラー屋外膨張配管修繕、卓球台ほかを修繕した。 <p>(2) 利用者からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者からの意見については真摯に受け止め、県教育委員会スポーツ振興課とも協議しながら、利用者の安全を考慮し、速やかに対応した。 <p>(3) スポーツ教室の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の多種多様なニーズに応え、ZUMBA（ズンバ）・健康ヨガ・バレトン・キッズサマースクールなど7種・8講座のスポーツ教室を開催した。（教室参加者数5, 571人） <p>(4) 「県民の日」の施設無料開放及びスポーツ教室無料体験の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バドミントン・トランポリンなど9種目のスポーツ教室無料体験を実施したほか、施設の無料開放を行い、体育館の利用促進と県民総スポーツの推進を図った。（利用者数716人） <p>(5) 危機管理体制の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災等の緊急時に備え、利用者の安全確保を最優先課題に消防訓練（2回）及びAED講習会（1回）を実施した。 <p>(6) 来館者が多い大会の駐車場対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隣接する医療機関や銀行・コンビニ・民間スポーツ施設等への迷惑駐車を防止するため、利用団体等に通知したほか、目的外駐車防止のプラカードを作成し対応するなど対策を講じた。
利用者サービス向上を図るための取組
<p>一年間を振り返ってみた職員による自己評価</p> <p>(1) 個人情報の保護、守秘義務への対応については、各自が常に意識して業務にあたっている。</p> <p>(2) 防火管理や防火訓練における対応は、各自が真剣に取り組み評価が高い。AEDの取扱い研修への対応も評価が高い。</p> <p>(3) 受付や窓口業務での対応は、明るく適切に利用者への公平・公正にも配慮し、評価が高い。</p> <p>(4) 県教育委員会スポーツ振興課との連絡調整や県体育協会事務局との連携は、スムーズに行われており評価が高い。利用者・利用団体との連絡調整も評価が高い。</p> <p>(5) 「県民の日」やスポーツ教室などの自主事業については、職員間の協調体制など評価が高い。</p> <p>(6) 専用利用調整会議については、前年度の反省点を踏まえスムーズな運営が図れたことから評価が高い。</p> <p>(7) ホームページの活用については、本館等の専用利用状況、プール館の毎日の利用状況がコースごとに分かるよう掲載しており、利用者の利便性が図れていることから評価が高い。また、臨時休館等のお知らせを掲載し利用者への周知に努めた。</p>
今後改善・工夫したい事項
<p>(1) 老朽化している施設や競技用具の不具合箇所等を早期に発見するため、こまめに日常点検作業を行い、利用者の安全・安心を最優先に補修等を行っていく。</p> <p>(2) ホームページを活用した広報活動や利用者への情報提供に積極的に取り組み、利用者の増加を図る。</p> <p>(3) 毎年プール館の蒸気管や給・排水管の修繕を行っているが、不具合を予見することが難しいため、プール館の関係職員やボイラー技術者との連携を密にし、利用者への影響が最小限に抑えられるよう点検・確認作業を行っていく。</p> <p>(4) 利用者の安全・安心を確保するため、引き続き以下の事項を行う。</p> <p>①スタッフが災害時（火災・地震・Jアラート）に即応できるように、避難や誘導方法を訓練し、利用者の安全確保に努める。</p> <p>②施設内の犯罪予防と良好な環境を保全するため、挙動不審者の把握・風紀秩序の保持に努め</p>

- る。
- (5) 事故等を未然に防止するため、職員が表示板や張り紙などを作成し、敷地内における危険箇所の表示や注意事項等について積極的に啓発していく。
- (6) 館内表示を利用者が見やすいように工夫する。
- (7) 新型コロナウイルス感染症等の緊急事態に的確に対応できるよう職員の資質の向上を図る。

7 所管課による評価

項目	評価の内容	確認内容・所見等	評価
1. 住民の平等利用の確保	①住民の平等利用が確保されたか	利用者調整会議により確保されている。	C
	②使用許可に関する権限が適正に行使されたか	利用を適正に管理している。	C
	③高齢者、障害者等に対する配慮はなされたか	障害者のプール利用時に更衣室を工夫するなど、高齢者、障害者等に対する配慮や、平等利用の確保がされている。	B
2. 施設の効用の最大限発揮	①施設の設置目的に沿った業務実施がなされたか	目的に沿った事業が実施されている。	C
	②施設の利用促進、県民サービスの向上が図られたか	スポーツ教室の実施、ホームページによる最新状況の提供等、県民サービスの向上を図っている。	B
	③利用者満足度を把握し、満足度の向上が図られたか	意見箱の設置やアンケートを実施し、利用者の満足度の把握、向上に努めている。	B
	④利用者からの意見、苦情に対して適切な対応がなされたか	適切な対応をしている。	C
	⑤施設、設備、備品の維持管理や安全管理は適切になされたか	毎日の安全確認・定期点検を行い適切に管理している。	C
	⑥指定管理者の創意工夫により業務改善等がなされたか	無断キャンセル防止策を講じ、一定の成果を出すなど、創意工夫が見られた。	B
3. 管理を安定的に行う物的人的基礎	①組織体制は適正か	職員をバランスよく配置し、適正な管理運営を行っている。	C
	②収支は適正でバランスがとれたものか	バランスがとれている。	C
	③経費の縮減に取り組んできているか	照明の一部消灯など光熱水費の削減に努めている。	B
	④人材育成は適切に実施されているか	適切に実施されている。	C
	⑤危機管理体制（事故、緊急時の対応）は確保されているか	マニュアルを整備し、訓練を実施する等体制は確保されている。	C

	⑥県や関係機関との連携ができていますか	連携できている。 (速やかに県や関係機関と連絡を取っている。)	B
4. 個人情報保護	①個人情報の保護についての措置が計画どおり実施されているか	個人情報取扱特記事項を遵守し、適正な取扱を確保している。	C
	②情報公開は適切になされているか	該当なし (関係規定を整備している。)	C
5. その他	①施設の特性にふさわしい自己評価がなされているか	利用者アンケートによりニーズを把握するとともに、利用状況を分析・評価している。	C
	②自主事業が計画どおりに実施されているか	計画どおり実施されている。	C
	③イベント等を実施している場合は、地域との連携が図られているか	広報誌やチラシを広く配布・周知し、県民の日イベントや自主事業への住民参加を促進した。	C
	④環境への配慮(騒音・公害対策、ごみ削減等)がなされているか	緑化保全対策を推進している。	B
	⑤その他管理運営上の特記事項(コロナ対策がなされているか等)	消毒液を設置する等のコロナ対策を行っている。	C
総合的な評価			
<ul style="list-style-type: none"> ・県民の多様なスポーツニーズに対し、各種スポーツ教室の開催や、ホームページで利用状況を情報提供するなど積極的な事業の実施により、施設の利用促進を図り適正に運営されている。 ・施設の老朽化により、設備・備品の故障や不具合が多い状況となっているが、日常にきめ細やかな安全点検・確認作業により適切な管理を行い、利用者に安全・快適な施設の提供を行っている。 			

※「評価」欄には、以下の指標により判定した結果を記載すること。

- A：事業計画に対して極めて優れた取組となっている。
- B：事業計画に対して優れた取組となっている。
- C：事業計画どおりの取組となっている。
- D：事業計画に対して劣る取組となっている。
- E：事業計画に対して極めて劣る取組となっている。